

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	組織学実習				
担 当 者	布引 治 佐野 太亮 梶山 和樹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	4.1	4	4	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>新体制にて組織学を新しい視点で再構成しました。初めての試みもありましたが、多くの学生から良い評価をえることができました。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドにたくさん写真があり、理解しやすかった ・先生が3人いてくれるので質問しやすくて助かりました。 ・スケッチすることで内容理解を深めることができた。 ・プリントに手本となる写真を沢山載せて下さっていたこと。 <p>→この授業にて多数の画像をみて形態学の幅の広さを実感いただけますと幸いです。</p> <p>② についていろいろなご意見ありがとうございます。すべて前向きに検討し次年度に生かしたいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	細胞検査学				
担 当 者	布引 治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>細胞検査学は現場でしか得られない貴重な資料を中心に授業しました。細胞診は多くの細胞像を見ることによって力がつきます。細胞の魅力に取り憑かれた方もいらっしゃるかもしれませんが。授業を通じて細胞検査士の仕事の面白さを感じていただけたら幸いです。</p> <p>受講生のコメント</p> <p>①この授業で良かった点: この授業の良かった点は、国試の問題を多く解く形式が効率的で、重要なポイントや特徴を覚えやすかったことです。</p> <p>→実際に国試の過去問題を 30 年分解いてもらい、国試問題が何度も同じ内容を繰り返し出題していることを学んでいただきました。特に重要な項目は何度も出題されていることが分かります。問われている内容が常に同じであることに気づいて下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	布引 治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
2.9	4.4	4.5	4.5	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>「世界の今」をテーマに世界の諸問題を、ドキュメンタリー動画を供覧しながら、学生に自主的に調べ知識をつける授業である。調べるのが楽しいと思えたらこの授業は成功と思う。</p> <p>受講生のコメント</p> <p>① この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画を通して様々な人の人生に触れ、世界の今を知った。また世界の国々と保険制度や教育・有給制度などを比較して考え方の違いがあることがわかり、日本のことしか普段考えないが、こういう制度もあると知ることができた。映画を通して視野を広げ、今知らないことをもっと知りたいと思った。 <p>→世界をテーマに、広い視野で自分で調べる楽しさを実感できましたら幸いです。これからも若い人が観るべきドキュメンタリーを探し続けます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	細胞検査学特論 I				
担 当 者	布引 治 佐野 太亮 梶山 和樹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.9	4.8	4.9	4.9	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>前半が終了しました。ハードな授業だったと思いますが、スタートした頃を思い出して下さい。着実に向上しています。これからはさらに多くの症例を診て診断力に磨きをかけて下さい。所蔵の専門書をさらに読んで実力を高めて下さい。これからどんどん面白くなりますよ。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	細胞検査学特論Ⅱ				
担 当 者	布引 治 佐野 太亮 梶山 和樹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.9	4.8	4.8	4.9	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>臨床検査技師の中で診断ができる仕事です。とても責任重いです。細胞診を学んで良かったと思ってもらえれば幸いです。自分の力をさらに磨きましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	基礎生物				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.3	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れ様でした。「生物学」を少し理解していただけただけでしょうか。そして「生物学」を少しは好きになっていただけただけでしょうか。</p> <p>「基礎生物」で学んだことがこれからの専門基礎科目の土台になります。すでに後期の専門科目の難しさを感じている人は多いと思いますが、「基礎生物」の毎回の manaba テストで培った継続的な学修習慣をこれからも続けてください。</p> <p>いただいたコメントは…</p> <p>良かった点としては、プリントやスライド、図を使った説明などが挙げられていました。→文章だけでは私たちの体内で起こっていることのイメージがわきにくいので、なるべく図を使うようにしています。</p> <p>改善点としては、「口頭説明のみでスライドに載っていない情報があり、復習に不適切」→重要な部分はスライドに載せていますので、復習はスライドの PDF を中心にいただければよいと思います。</p> <p>「小テストが難しい」→当日の授業で扱った内容で作成しているつもりですが見直してみます。後期以降の授業にもつながる内容ですので、頑張って勉強してみてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	遺伝子・染色体検査学実習				
担 当 者	松元英理子、溝越祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>【松元】</p> <p>実習お疲れさまでした。「全部機械がやってくれると思っていたのに、意外に手間と時間がかかる。」と感じたのではないのでしょうか。一つ一つステップを踏んで進めてゆくことが、解析原理の理解につながると考えています。</p> <p>さて授業評価の結果ですが、設問別の評価で高かったものは、「レポート等のチェック」「試薬等の準備」「技術指導」が高い評価になっていました。皆さんのレポートや技術に対する個別の指導が評価されたようです。</p> <p>自分の手を動かして出したデータを目の前に、これまで講義で学んできた知識やさらに自分で調べた知識を使いこなして論理的に考え、解決策を見出していく…これが社会で必要とされる「力」です。皆さんは実習を通して十分にトレーニングを積んだと思います。</p> <p>多くのコメントをいただきました。ありがとうございます。</p> <p>良かった点として、複数の方が「自己検体の遺伝子解析」を上げておられました。得られた結果を今後の飲酒生活(?)に活かしてください。また「レポートループリック」や「不測の事態への対応」も挙げられていました。「不測の事態」…泳動のバンドの件ですね? 私たちも毎年皆さんの結果がでるまでは実はドキドキなんです。それから「神経を使うけど楽しい実習だった」というコメントもありました。ありがとう。そうです、「実験は真剣勝負!」です。</p> <p>【溝越】</p> <p>皆さんが実習で何気なく行った PCR はキャリーマリス博士が開発し、1993 年にノーベル化学賞をとった大発明です (ちなみに 2019 年の 8 月に亡くなられてしまいました)。この技術の特にすごいところはサーマルサイクラーさえあれば、たとえ一大学の一実習でも簡単に実施できるという利便性だと思います。簡単で単純な作業でしたが、実はこの工程に画期的なアイデアが濃縮されているということ、また、実習で画期的な技術のひとつに触れていたということを知っていて欲しいと思います。コロナ禍を経た皆様だからこそ PCR の重要性については肌で感じられたのではないのでしょうか。</p> <p>いただいたコメントについては松元先生が全て拾ってくださっているので私から返すことは</p>					

何一つありません。自己検体を調べて面白かったという感想を持っている人はぜひ、他の遺伝子解析にも挑戦してもらいたいと思います。遺伝子工学実験（遺伝子改変実験）なども面白いですよ。半年間、実習お疲れ様でした。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学 I				
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.4	4.4	4.1	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>公衆衛生学 I は疫学研究、疾病統計、社会保障制度、医療保障制度などが学修範囲となっており、覚えることが多いことから、正直あまり興味が湧かなかった人も多かったのではないかと思います。しかしながら、ここで学んだ事柄は将来、実社会で働く上で絶対に必要になります。また、国家試験でも頻繁に出題されているので、4 年生になってから焦らなくて済むように、今のうちから毎日少しずつで良いので知識として蓄えるようにしてください。これが何よりの国試対策にもなります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	医動物学実習				
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.2	4	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>今年度は医動物学の講義を実習室で行いましたが、ディスプレイの画質が悪く、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。お詫びします。実習では鯖を解体して生きたアニサキスの幼虫を見てもらいましたが、この実習は特に興味をもって参加してもらえたのではないのでしょうか。アニサキスは毎年、国内での食中毒事件数の上位にランクされるので注意が必要です。また、最近では国内外において寄生虫による健康被害のニュースを時折目にします。とても身近な問題ですので、普段から関心をもつようにしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	臨床化学検査学 I				
担 当 者	林伸英				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.8	3.9	3.6	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>臨床化学検査学（I・II）は国試に出題されてきた内容および重要な事項を理解してもらうために、教科書にそって講義をつくる必要があると考えています。しかし、教科書を使った内容が中心になってしまうと、平坦で退屈な授業になってしまいがちです。そうならないように、動画の教材やスライドを使ったプレゼンを挟み込みながら授業をしました。今後もわかりやすい授業になるように努めます。この授業でよいと思った点に「教科書にそった授業」「教科書にマーカーを引いて予習した点」「小テストで例題をあげてくれたこと」「計算問題を授業中に解説したこと」とあり、ラインマーカーを引いた教科書の PDF を事前にアップして予習しておくことが授業の理解度をあげられる点で、小テストで重要な部分の再確認と復習ができる点で、このような進め方がよかったと思っています。改善すべき点に「テストの範囲が広すぎる」との意見がありましたが、授業で実際にやっていたことをテスト範囲にすることは致し方ないと思います。</p> <p>予習は大変だったと思いますが、教科書につけたマーカーはあなた方が3年生になって B6 カードを使うようになると国試の過去問とマーカーの箇所が一致し、マーカーをした意義がわかってもらえるように思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	検査管理総論				
担 当 者	林伸英				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.2	3.9	4	3.8	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>以前は、ほとんどの検査部門はトップ（部長）が医師で、現場責任者が臨床検査技師長という組織構成でありました。臨床検査技師が専門技術者であると同時に組織を統括し、マネジメントすることが本来の姿であり、現在このような組織が多くなってきています。</p> <p>臨床検査技師として力量を磨かなければならないと思うきっかけが本教科の目的の一つであると考えられます。本教科は検査室の管理運営、医療安全、精度管理、検査結果の評価、進路等、すべての検査業務に共通する内容を含んでいます。従って、普通の教科のように専門性が見出しにくい内容であり、学生にはわかりにくい部分もあったかと思います。しかし、すべての臨床検査で求められる正確・迅速な検査結果報告のための必要最小限の考え方を網羅しており、卒業生からしばしば、「検査管理総論の重要性が今になってわかりました。」と聞くことがあります。あなた方が社会に出たらこのように感じる時がくることを望んでいます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	一般検査学				
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.9	4.1	3.8	4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>ワークシート（書き込みプリント）を仕上げるのは、大変だったと思います。</p> <p>プリントの内容・分量は、今後も継続的に修正してきます。</p> <p>解答が欲しいという意見がありますが、5 択問題以外のところは、あえて解答をお渡ししていません。これに関しては、今後部分的にみなさんの要望に応じていきたいと思っています。</p> <p>後期からは基礎検査学実習が始まり、教科書で学んだことを実際に体験していただきます。さらに理解が深まり、一般検査の重要性や面白さが伝わることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	病理学				
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.9	4	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>ここ数年“同じ情報量ならよりシンプルに” をモットーにスライド作成をしていますが、『文字が小さくて見にくいスライドがあった』とのコメントをいただきましたので、スライドの文字数や重要ポイントのアピールの仕方など、さらに工夫を続けていきます。</p> <p>使用したテキスト『シンプル病理学』は、カラー写真も多く読みやすくまとめられていますので、どうぞ今後も読み続けて下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	呼吸・循環機能検査学				
担 当 者	松田 正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3	2.8	2.9	3	2.8	
学生へのメッセージ					
<p>声を通りにくかったことは反省しています。</p> <p>「呼吸」、「循環」と別々に既に学修してきた学年ですから、十分な自己学習が必要です。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	医療英語				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.1	4.1	4	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>「医療英語」では専門科目をご担当の3人の先生方に講義を担当していただきました。それぞれのご専門の立場から「読む」ことや「書く」こと、「研究」、「グローバルな視点をもつ臨床検査技師」というテーマで講義していただきました。それぞれ興味深い講義でした。また皆さんにとって英語を学ぶモチベーションになったかと思います。研究や仕事の上での英語の必要性や英語学習のヒントを下さったので、今後の学習に役立ててください。</p> <p>今年の皆さんは、課外学習にも時間をかけている人が多かったです。これはとても良いことです。授業に出てただ聞いてノートを取るだけでなく、事前に自分で調べ、あるいは復習をすることで、知識は定着していくからです。マナバの課題も毎回提出でしたが、皆さんは遅れることなく提出できていました。</p> <p>「医療英語」で学んだことはこれから先に必要な英語のほんの一部にしか過ぎません。英語が好きな人、苦手な人、様々だと思いますが、今後は自分にあった英語の付き合い方を見つけてもらえればと思います。医療に携わると英語は必ず必要になってきます。将来にわたって自律した英語学習者になってくれることを願っています。</p> <p>本年度使用したテキストは今後も役に立つことと思います。時間を作ってふりかえってみてください。特に患者さんとのやり取りは、しっかりと覚えておくことです。医療現場独特の表現もありますので、もう一度復習しまとめておいてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	BLS キャリアパスⅡ				
担 当 者	澁谷 雪子、伊藤 洋志、浦 みどり、砂見 愛子、佐野 太亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.2	4.2	4.4	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>本年度は、対面授業8回を実施し、授業は①小論文を作成し、皆さんでチェックをしあう、②将来の仕事内容(病棟、災害、地域・在宅など)について調べ、まとめる、③自己PRを作成する、④面接で必要なことを考え、まとめる という内容でした。</p> <p>授業評価の結果は、Ⅰ学生自身 3.2、Ⅱ授業内容 4.2、Ⅲ授業方法 4.4、Ⅳ学習成果 4.4、Ⅴ総合評価 4.3 でよい評価でした。設問8「聞きやすい話し方だった」(4.43)、設問14「自分で調べ、考える姿勢が身についた」(4.41)、設問10「授業の進行速度は適切だった」(4.39)、設問11「学生への質問や意見への対応が十分になされていた」(4.38) と高評価でした。</p> <p>なぜ高評価に繋がったのかを考えてみました。将来の仕事内容(病棟、災害、地域・在宅など)について、皆さんが調べ、今の自分に何が必要かを考えるグループワークもあり、将来を考えることで積極的になれ、積極的に取り組んだという自信がついたため、高評価に繋がっているのではないかと考えています。「皆さんの頑張りのおかげです。」</p> <p>今回実施した小論文の相互チェック(アドバイス)、調べたことを伝えるグループワークなどを通して、多くの意見を聞き、考えることで、視野が広がると思います。これからも続けていってください。</p> <p>あと半年で就職活動が始まり、社会人になっていきます。BLS キャリアパスで考えた社会人(臨床検査技師)として必要なことをもう一度、振り返っておいてください。そして、理想の社会人(臨床検査技師)像に近づいていきましょう!</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	情報基礎				
担 当 者	佐野 太亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4	4.4	4.4	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>情報基礎の授業では、数理データサイエンスやビジネスメールの書き方、そして学内で利用できる google、Microsoft のサービスについて体験してもらいました。</p> <p>特に Microsoft のエクセル、ワード、パワーポイントを活用する機会はこれから多くなってきます。授業の中では、頻繁に使用する機能を主に使用してもらいましたが、まだまだ沢山の便利な機能などがあります。これから使用する中で探してみてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	医療コミュニケーション				
担 当 者	今西麻樹子、新谷路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.6	4.7	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>臨床検査技師は「縁の下の力持ちで、ひとりコツコツと仕事する」とのイメージが未だありますが、どのような職種でも相手とのコミュニケーションは必要となってきます。本来の臨床検査技師の業務は、『検査前の説明→検査の実施→報告書の作成→結果の説明相談』までであり、検査の実施だけではなく検査の全過程に責任があります。</p> <p>「採血や採尿」「筋電図、肺機能」の検査（前）説明に比べて、「検査結果説明」は難しかったと感じたのではないのでしょうか。患者さんに向けた検査説明には検査に関する注意事項、検査値と病態、検査結果の解釈、検査の意義などの知識とともにコミュニケーションスキルも必要となります。大学で学んだ知識と技術を基礎に、就業して得る知識・技術・経験を積み重ね、検査を行うだけではなく「検査説明・相談もできる臨床検査技師」になってください。</p> <p>【今西・新谷】</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理機能検査学Ⅱ				
担 当 者	今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4	4	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>この授業で改善すべきだと思った点で、「プリントを写すのに必死で授業があまり聞けなかった」とのコメントがありました。</p> <p>授業を聞き流すのではなく、重要・必要ポイントを授業内で掴んでもらえればと考えての授業形態ではありましたが、新カリキュラムで授業が8回から15回に増え、昨年度よりはゆっくりと授業を進められると教科書に記載されている内容を詰め込んだため、却って授業スライドが多くなったのも一因と考えます。次年度に向けて改善していきたいと思えます。</p> <p>脳波に関しては、いろいろな波形が発生する機序が十分わかっていないところもありますが、決して難しいものではないと思えます（脳波を読むのは難しいけど）。また、筋電図は神経系に関する基礎的事項を基に検査法が築かれているため、まずは基礎知識を十分に整理して、神経系疾患に関する基礎知識を学習しつつ、これらの疾患において各種検査を行うとどのような異常が出現するかを理解してください。</p> <p>なお、令和6年度の臨地実習から実習12単位のうち3単位以上は生理学的検査に関する実習を行うことになっています。生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、各生理機能検査を行う上で必要となる科目です。そしてこれらの基となっているのが生理学と解剖学です。現在、生理機能検査学を苦手と感じている人は、生理学と解剖学から復習してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	臨床病理検査学実習Ⅱ				
担 当 者	佐野、梶山				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.4	4.4	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>臨床病理検査学実習Ⅱでは病理検査学で学んだ染色法と一部組織学の復習を行いました。病理検査で行う染色はただ、何が何色に染まったという結果だけが大切な訳ではありません。特殊染色があるのは何かの疾患に対して、H・E染色では得られにくい情報を得るためです。そのため、どの疾患にはどのような染色が必要かを考える必要があります、そのためには基本的な組織構築と疾患による変化を覚えなければいけません。病理検査学は単独の科目ではなく、解剖学、病理学、組織学の基礎の上につながっている科目です。もちろん染色の原理、方法、試薬等を覚えることも大切ですが、解剖学、病理学、組織学の復習も忘れずに行うようにしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	基礎化学				
担 当 者	佐守秀友				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.4	4.2	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>ご受講頂いたみなさん本当にありがとうございました！基礎化学は高校で化学を履修していなかった人、化学がやや苦手な人のフォローアップをするために開講された自由科目です。講義では教科書内容と関連した分野で化学の面白さが伝わるような話題を盛り込んだりしつつ、なるべく興味を持ってもらえるようにしたつもりです。講義後に残って質問などを積極的にしてくださった方も多く、大学生活の一步を皆さんと一緒に歩めたことを嬉しく思っています。</p> <p>また課題では各章の化学的知識を実際に使用する時に用いる計算演習を記述式で行うなどして多くの問題の解答を繰り返してもらいました、他の教科の課題もある中、かなりの方がしっかりと課題を解いてきてくださっていました。課題を本当に良くがんばってくれたと思います。本当にお疲れ様でした！</p> <p>課題や定期試験の解答を見て気になったことがあります。「式は合っているのに計算結果が間違っている」こういった方が多く、せっかく電卓を使って良いとなっているのにもったいないな…と感じます。また、「逆に計算は間違っていないけど、式の立て方が間違っている」という方もおられます。</p> <p>筆算の能力は大切ですが、どれだけ理論がわかっている、計算が完了できなければ正しい検査・実験は行えませんので電卓での正しい計算式の処理の仕方もしっかり学んでいってください。また、その逆にどれだけ計算に自信があっても、化学の知識を式に落とし込めなければ、それでも正しい検査・実験は行えません。</p> <p>基礎化学の講義では、とても基礎的なところからお伝えし、教科書の細かいところまでは触れることができませんでした。時間のあるときに教科書の細かい欄外などを読み進めてみるとよいと思います。</p> <p>基礎化学の講義がみなさんの一助となっていれば幸いです。</p> <p>もし、化学の基本的なことでわからないことがあれば、いつでも質問のメールなどを送ってきてください！（佐守）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	免疫学				
担 当 者	鈴木高史				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.2	4.4	4.5	4.1	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点寄りと着物がわかりました。ありがとうございました。引き続き、ご意見を反映できるようにより良い授業にしていきたいと思えます。</p> <p>免疫学は分子生物学、生化学、感染症学など様々な分野を含むものです。そのため、免疫学の理解のためには、全体像を理解することが大切で、細かい内容はそのあとに掘り下げていくべきであると思えます。全体像の理解という点では、皆さんの試験結果などをみると、本講義である程度達成されたと思えます。これからは、免疫学の中で興味を持った分野があったら、自主的に図書館などで文献を探して、発展的な勉強をしていってもらいたいと思えます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	免疫検査学実習				
担 当 者	鈴木 柝倉 溝越 岡本				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。動画の有効性が確認できたため、次年度も積極的に用いたいと思います。プリント等をスクリーンに映す際に問題がないかの確認をしっかりと行いたいと思います。またレポートの採点基準を事前に明確に伝えるようにしたいと思います。</p> <p>免疫検査学は免疫検査の原理と疾患との関連を勉強するものです。そのため専門的な話も出てきましたが、皆さんの試験結果をみると、本講義での内容の理解はある程度進んだと思います。本講義は3人の教員によるオムニバス形式ですので、いろいろな切り口で免疫検査学の内容を勉強することができて、理解が深まってくれたのではないかと期待しております。しかし、知識を完全に皆さんのものとして定着させるには、どうしても授業だけでは十分と言えず、皆さん自身が主体的に勉強する必要があります。</p> <p>これからは、免疫検査学の中で興味を持った分野あったら、自主的に図書館などで文献を探して、さらに発展的な勉強をしていってほしいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理機能検査学 I (循環器系)				
担 当 者	浦 みどり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.6	3.3	3.5	3.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価にご協力いただき、ありがとうございました。ご指摘の多かった内容について、以下にコメント致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクの音量をあげてほしい <p>マイクの音が聞こえづらいというご指摘が多数ありました。授業の最初に「聞こえますか?」と確認していたつもりでしたが、実際に授業の後半で充電が切れることが何度もあるなど、音量の問題のほか授業を中断する原因にもなり、ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今後は、まずマイクの音量を上げること、その音量が授業の間、常に維持されていること、また特に皆さんが受講していた縦長の教室では、聞こえづらい位置があるようなので、教室の隅々まで音声が届いているかを確認しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>現在、より良い授業や実習の実施にむけて、実習室でも試験的にマイクを使用するなど改善に努めておりますが、もし聞こえづらい時がありましたら、皆さんに直接還元できるよう、その場で言うだけでけるとありがたいです。また、今後は皆さんにとってより良い授業や実習が出来るよう、随時改善に努めたいと思っておりますので、お互いに良い案を出し合っていけるような関係性やコミュニケーションを心掛けたいと思っております。引き続きご協力をよろしくお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料のホチキス止めの位置を変えてほしい <p>複数の方々から改善を求める声が挙がりました。大学のプリンターの使い方に習熟していなかったために、通常は左上になるべきホチキスの位置が、イレギュラーな右上となってしまう、申し訳ありませんでした。使い勝手が悪いまま前期が終わってしまい、ご不便をおかけしました。この点は既に改善しておりますが、前期の授業に間に合わず申し訳ありませんでした。</p> <p>なお、「裏表で上下逆」の印刷方法について、1名の方から変更希望がありました。ホチキス止めの位置に伴い、配付資料の印字についても、1ページあたりのスライドの枚数や分割方法など、試験的に変えていますが、学生の皆さんにとって使いやすい配付資料になるよう、随時ご意見を取り入れたいと思っておりますので、具体的な希望などがありましたら教えてください。また印刷の文字が潰れるなど読みづらい箇所があったようですが、その際にも問題があるページ</p>					

について、その場で指摘していただけると確認して何らかの対応をしたいと思いますので、今後はリアルタイムでのご助言をよろしくお願いいたします。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	生理学 I				
担 当 者	堀江 修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	3.8	3.6	3.7	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございました。授業はほぼシラバス通り進行し、授業資料もそろっていたので落ち着いて授業ができました。授業において声が聞き取りにくいという評価が多数ありますので、マイクなどを多用して改善に取り組みます。カラフルな授業スライドと時間的に無理のない課題は継続します。そして何よりうれしかったのは、学生さん自身が勉強した、調べた、考えたという時間が多かったことです。基礎専門科目で積極的に勉強に取り組んでくれたのは、今年度の生理学 I 授業の大きな成果の一つです。総合評価は結局例年と変わらなかったのですが、評価内容によって評価の高いものと低いものの差が激しく、低いところを重点的に改善していきたいと思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	血液検査学 I				
担 当 者	堀江修、澤村暢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.8	3.8	3.7	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございました。1 時間目の授業だからというのは理由にはなりませんが、授業資料が始業までに 2~3 分遅れたりすることがあるので、それを改善します。課題は適宜示していますが、解答を示していないので解答を示すようにします。授業方法のうち、声が聞こえにくいという指摘は毎回あるので、できるだけ修正して次の授業に臨みます。今回の評価では、皆さんに血液検査学に対して興味を持ってもらえたとは言えないので、大いに興味を持ってもらえる魅力ある授業を、担当教員一同で協力して行いたいと思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	血液検査学実習 I				
担 当 者	堀江修、澤村暢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございました。授業評価はすべての項目で学科平均点以上でしたので、実習は成功したということができると思います。特に I 学生自身と V 総合評価が高かったのが誇りです。この調子で後期もがんばります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	労働衛生学Ⅱ				
担 当 者	堀江修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.3	4.1	4.1	4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございました。Ⅰ学生自身、Ⅱ授業内容、Ⅳ学習成果で学科平均を上回ったものの、Ⅴ総合評価では平均を下回ってしまいました。やや不思議な結果に驚いています。総合評価はこの授業を受けて満足しているという項目なので、ここだけは上げておきたいと思ったところです。授業評価に参加した人数も受講者の14%というのが響いたのかもしれない。来年はみなさんにもっと労働衛生学に興味を持ってもらえる授業を実施できるよう、担当教員一同で努力していきます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	生理機能検査学実習Ⅱ				
担 当 者	今西麻樹子、浦みどり、砂見愛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>【今西】 授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>肺機能検査、ABR検査としては、初めてゼミ学生にチューデントアシスタント(SA)として参加してもらい、皆さんのコメントよりSAの存在が実習にプラスになった様子が窺えました。ただ、「教え方に差があった」とのコメントもあり、指導教員として反省しています。次年度からはSA全員が同じ内容で説明できるよう十分な指導を行い、実習に臨んでもらいます(それは、あなたかも!)</p> <p>さて、本実習での肺機能検査は、松田先生の講義「生理機能検査学ⅡB」でしっかり呼吸生理や検査原理を学修した上での実習となりました。講義ではよくわからなかった内容が、実習や課題・レポートを書くことで、「なるほど、そういうことか!」と理解してもらえていたら幸いです。未だ、「??」の人は、松田先生の講義資料を繰り返し復習してください。</p> <p>【浦】 改善すべき点についてのご指摘について、以下に回答致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を大きくしてほしい <p>指摘が多数ありました。実習の終わり頃に、「座席を横長にした方が聞こえやすいのではないか」とのご意見をいただき、遅れ馳せながら配置を変更しました。殆どの実習が終わった後の対応となってしまう、配慮が足りず申し訳ありませんでした。現在、実習室でも試験的にマイクを使用するなど、改善に努めておりますが、皆さんからのリアルタイムのご助言により、その場で改善し、直接皆さんに還元できることもあると思います。今後は皆さんにとって、より良い授業や実習のために、お互いに良い案を出し合っていけるような関係性やコミュニケーションを心掛けたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容・順番を統一してほしい <p>実習を進めていく中で、説明が不足している点や補足すべき点に気付くことも多く、実習の理解を深めたり、レポート作成に役立ったりするようにと、後から説明や資料を追加したものがありませんでした。そのため、はじめのグループと後のグループで、説明の順番が前後することがあり、混乱を招いたことはお詫びいたします。また、講義の内容については、水曜日に杉山先生にいただいた講義と同じ内容を、木曜日に浦が行うというスタンスで、内容の統一に努</p>					

めましたが、私の組み立ての悪さや土曜日の実習での人員不足などから、実施できていなかった講義をレポート提出後のまとめの時間に実施するなど、予定通りに進まなかった班が出てしまったことは、大変申し訳なく思っております。今回指摘があった内容をよく吟味し、今後の改善に向けて検討していきます。ただ、一部の方々に対して実習をやり直すなど、直接的な対応は難しいため、別の機会に補い改善していきたいと思っておりますので、改めて率直なご意見をお聞きしたいと思います。

【砂見】 皆さん、実習お疲れ様でした。

超音波検査は検査者の技量が結果に直結する検査です。それだけに重責を伴いますが、やりがいのある分野です。実習ではほんの入口の話しかできませんでしたが、この実習をきっかけに超音波の世界に興味をもってもらい、今後の人生に少しでも生かしてもらえれば嬉しいです。ゼミ生のアシスタントが大変好評でした。次年度もしっかり指導を行い、共に実習に臨みたいと思います。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	物理学				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4	4	3.9	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>医療検査学科の学生は化学や生物は得意ですが、物理アレルギーの人が多くいますので、百聞は一見にしかずで、できるだけ小道具を使って説明しました。たくさん良いと思ったことを書いてもらえ良かったです。授業スピードが速いという学生もいますが、8回で終わらせるためには、このスピードとなります。また、最終授業後の感想では、物理に対する苦手意識がなくなったという学生もあり、良かったと思っています。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> •分光器など実際に使って体験できたので印象に残っています。毎回普段の日常に結びついた知識が興味深く、先生のご教示を受けて自分で調べて勉強するのが楽しかったです。 •実践して見せて頂けるのがとてもありがたかったです。 •スライドがわかりやすかった。動画が良かった。 •実際に道具を作って使ってみたり、前で実際に行っているところを見れたので、より理解が深まった •質問や感想について、授業で教えてもらえて良かったです。また、実際に実験器具を使って見れたので、より理解が深まりました。 •習ったことがどのように応用されているのか紹介があったり、実験が毎回取り入れられていて、実際に目で見て理解することができた点 •教科書の文章だけでなく、いろんな図や機械で実際に説明してくれてわかりやすかったし楽しかった。 •レポートに質問とか、感想のところがあって、質問とかしやすかった。 <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> •8回で終わらせないといけないため、少し授業の進みが速かった。 •授業スピードが少し速く感じた。 					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	医学検査サプリメント演習Ⅱ				
担 当 者	澤村暢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.6	4.1	4	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験に向けてしっかり基礎固めができたと思います。授業以外の学習時間も2時間以上と回答した方がほとんどでした。</p> <p>国家試験まであと3か月余りです。合格を目指して引き続きしっかり勉強に取り組んでください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	対人援助技術演習				
担 当 者	江崎ひろみ・今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.5	4.5	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は 臨地実習で経験するであろう患者対応を想定し、対人援助技術の基本を学習していただきました。3年後期には臨地実習が始まります。臨床では、患者家族へ安心をもたらす安全・安楽な対応をどのようにされているのか学ばれることと思います。実際を見聞きして学ぶには、まずは観る視点が必要となります。本授業で得た基本的な知識を「観る視点」のひとつとしてもらい、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。また、衛生管理者として必要な知識（コミュニケーションなど精神衛生、腰痛予防対策、救命救急処置等）は、職場環境だけでなく日常生活の中でも必要とされる基礎知識です。「普段の私生活で活用できる知識を身につけることができよかったです。」</p> <p>「授業の中でクラスメイトと意見交換し、考えを深めることができた。」という学生さんもおられ、日常生活の中で暮らす人にかかわる専門職として、気づく力を高めようと取り組まれる方が多かったですと感じます。（江崎）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	検査入門実習				
担 当 者	伊藤 洋志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.6	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>【比色・ピペット 分野 (伊藤・溝越)】 「比色分析は予習動画などがとても丁寧で分かりやすかった。」というコメントをいただきました。今年度から導入した試みでしたが、学生皆さんがしっかり予習をしてきていたため、スムーズに実習が進めることができました。実習の予習はとても大切で、予習をすることで実習の目的や、操作の概略をつかむことができます。概略をつかむことで、予習ではわからなかったところへの質問ができ、1段階深い理解に繋がります。今後の学生生活では、わからないところは遠慮せず、先生や友達に聞くように意識してってください。(伊藤)</p> <p>【化学基礎 分野 (酒井・佐守)】 化学基礎では予習時に教科書以外に一般公開されている動画などを観て頂き、多くの方が予習を生かした実習・レポートへの取り組みができていたと思います。一方、予習が不十分なため知識に基づかず隣の人がやっているからということで同じ準備や操作をして失敗をしている方もおられました。予習の大切さを感じて頂けたのではないのでしょうか。また、上級者の操作を真似ることは非常に有意義なのですが、正しい知識が無いまま同クラスの初級者の人の作業を真似すると重大なミスにつながるという貴重な体験をされた方も多いかと思います。当分野では学生生活・社会人生活でも必要となる「時間内に課題を達成するため適宜情報を収集する力(自身に不足した情報を補うためにコミュニケーションを取る力)」「正しい情報ソースに基づき行動する力」「自ら実験エリアの情報を分析し必要な物品を調達する力」などの基礎的な実験者マインドを育てる目的で、やや不親切とも思われる紙面情報や物品配置などがあったかと思えます。そのような環境で揉まれ実習を完了した皆さんはきっと自ら実験・試験を独自遂行していく自信が少しは得られているものと思います。ぜひこれからも皆さんには知識に裏打ちされた行動・操作を意識して先の4年間の実習に励んで頂ければと思います。(佐守)</p> <p>【顕微鏡 分野 (佐野・梶山)】 病理診断学や病理検査は、手術や死亡解剖で摘出した組織の肉眼観察、組織切片(凍結または固定切片)、剥離細胞診、体液中の細胞や結晶物を顕微鏡で観察し診断する検査です。そのため顕微鏡の構造や使用方法を完全に理解し日常業務を行うことが不可欠です。学生としても顕微</p>					

鏡を使用する病理学検査実習をはじめ血液検査・微生物検査・一般検査での尿沈渣などの形態学分野では、顕微鏡の基本構造を理解したうえで実習を行っていただきたい。(佐野・梶山)

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	医療安全				
担 当 者	伊藤 洋志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	4	4	4	4	
学生へのメッセージ					
<p>本授業は、医療安全について具体的・実践的な講義とするため、臨床の現場でご活躍中の先生方にも担当に加わっていただいております。授業は対面で行うのが大学の基本方針ですが学外講師のご都合もあり、本授業ではオンデマンドによる動画を視聴する非対面形式も取り入れています。</p> <p>「(一部が対面授業だったが全て) 遠隔授業でもよい、遠隔授業がよい」という趣旨のコメントをいただきました。対面で授業を行う際は、非対面にはない利点を生かした授業を心がけたいと思います。</p> <p>「遠隔授業なら試験はレポートが妥当」という趣旨のコメントをいただきました。対面・非対面授業に関わらず定期試験は筆記試験が基本であり、非対面授業の成績評価はレポート試験で行うべきという考え方に合理的な理由はないと考えます。しかしながら、一部授業が動画視聴であることに留意し、修得度を適切に測れる試験であるよう、試験方式や試験問題、評価方法等については今後も検討していきたいと思います。</p> <p>「遠隔授業のレジュメコピーを事前に行って欲しかった」とのコメントをいただきました。動画の視聴期間前から PDF 資料を manaba で公開していましたが、対面授業と同様に用紙（紙媒体）での提供を希望と理解しました。全履修生に事前に用紙で提供するには、提供場所や日時（期間）、期間中の用紙の管理、無駄にならないよう必要部数の把握など、いくつかの課題があります。対応可能かどうか、関係部署と検討してみます。（伊藤 洋志）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	医療工学				
担 当 者	関 雅 幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.8	4.3	3.6	4	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業はわかりやすい内容であった。」や「授業は知的関心や好奇心を起す内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。1年前期に物理に関連した科目を学ぶことになり、戸惑われた方も多かったかもしれませんが、心電図等では電圧の変動をみていくことになりますので、苦手だった方はしっかり復習をしておいてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	情報科学概論				
担 当 者	関 雅 幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4	4.3	3.9	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。</p> <p>授業中にも話したかと思いますが、コンピュータをいろんなことに使っていると、その中で情報科学関連の知識が増えていきますので、とにかく触っていきましょう。できればプログラミングにも挑戦してみてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	化学Ⅱ（有機化学）				
担 当 者	森川敏生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.6	4.3	4.4	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>化学Ⅱ（有機化学）を担当しました森川です。 学生の皆さんの本授業に対する誠実で真摯な姿勢と高い学習意欲を感じとることができました。化学（有機化学）が得意であった方も、また、苦手意識を持っておられた方もおられたと思いますが、本授業を通じて、少しでも知識の定着につながったことになれば幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	労働安全衛生法規				
担 当 者	松村歌子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.5	4.4	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>法律科目は一般に、堅苦しいイメージがありますが、どうしてそのような法律ができたのか、背景や事例などを勉強するととても面白いですし、学んだ知識は実生活で役に立ちますので、是非今後も法律を学ぶ習慣をつけて下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	化学 I				
担 当 者	澤井正治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	3.8	3.9	3.8	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>引き続き講義資料は大きく見やすく、重要なところははっきりわかる様に色分けして、記憶しやすいようにして、より一層良い講義資料と講義をしたいと思いますので、しっかりと勉強してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	画像検査学				
担 当 者	杉山 育代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	3.9	4.0	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>本授業進行について皆さんからご意見をいくつか頂いています。本授業は、2年後期までに心電図、心周期、心音図、脈波、心エコーの初歩、解剖学、生理学の学修している学生を対象に、それらを基に学習内容を発展させる授業です。過去に学習している部分の復習は速いので、授業進行は速いのです。この授業が理解できなかった学生さんは、2年生までの基本をゆっくり自学で復習しましょう。3年生前期の内容を分からずに放置すると、4年生の国家試験は大変苦勞します。3年生の今のうちに、生理機能検査学の赤い教科書を一回は熟読して勉強しましょう。</p>					